

建築科

快適な住空間づくりの技術を3年間で

私達の周囲には、さまざまな種類の建物が
あります。一戸建ての住宅をはじめとして、
集合住宅・学校・病院・商店・事務所など人
間が生活を営むためには必要なものばかりで
す。これらを設計し造っていくのが建築の仕事です。

自分が関わった建物がその地に残り、そし
てそこで暮らす人たちの役に立っている、建
築はそんなやりがいのある仕事です。

1 建築科の目指すこと

- (1) 建築の文化的・社会的意義を理解する
とともに、建築を中心として工業全般に
わたる知識・技術の習得を目指します。
- (2) 将来、建築技術関係部門に進んで、建
築物の設計監理・施工管理・建築行政な
どの業務を担当できる技術者を育てます。



工業高校生の考える夢のマイホーム



競技設計応募案

2 学習内容

建築科では、普通教科を6割、専門教科を
4割学びます。

建築科目には、木造・鉄筋コンクリート
造・鉄骨造などの建築物のしくみを学ぶ「建
築構造」、いかに快適で使いやすい建築物にす
るかを学ぶ「建築計画」、台風や地震にも負け
ない安全な建築物かどうかを検討する「建築
構造設計」、具体的にどのような手順や方法で
建築物をつくるかを学ぶ「建築施工」などに
加え、実験して確認したり体験を通して学ぶ
「建築実習」、各科目の知識を総合して図面化
する「建築製図」などがあります。



建築科3年の製図作業

建築物の形を表現したり、工事に関わる人
たちが建物について共通理解するツールとし
て図面が使われます。建築科では図面を書く
ことを中心に3年間学びますが、書くために
必要な専門的知識をしっかりと身に付けてい
くことが大切です。

浜工では、1年がT定規と三角定規、2・
3年が製図器具を使って手書き図面を学びま
すが、実社会ではほとんどがCAD（コンピ
ュータを使っての作図）に移行しているため、
1年からその練習もできるようにしています。

3 卒業後に取得できる資格

建築に関係する国家資格の代表的なものは、「建築士」と「建築施工管理技士」です。

建築士は、建築物を設計したり、工事が適切に実施されているかをチェックするのに必要な資格です。建築物の大きさや種類により、1級建築士・2級建築士・木造建築士の3つに分かれています。

建築施工管理技士は、工事現場の責任者になるのに必要な資格で、1級施工管理技士・2級施工管理技士の2つに分かれています。

これらの試験を受験するためには、建築設計や建築現場監督など建築に関しての実務経験が必要です。

浜工建築科を卒業すれば、3年間の実務経験でそれぞれの2級の受験資格が得られます。また、2級施工管理技士の学科試験は在学中に受験することができます。



天竜区役所新築工事現場の見学(平成22年)

4 就職と進学

建築科卒業生の進路は、例年、就職が50～60%で、進学が40～50%という割合になっています。

就職先は、建設会社が最も多く、その他は建築設計事務所・建材販売・建築設備会社などです。

進学先は、四年制大学や専門学校などの建築系学科です。国立大学進学者や国立高専の4年生に編入する者もいます。



施工実習での足場の組立て



木構造の建て方実習の様子

先輩のメッセージ1

私は今春大学を卒業し、4月から建設会社で働き始めました。夢だった現場監督の仕事に就き、毎日頑張っています。大変な事が多いですが、浜工の同級生たちも建築の仕事で頑張っていると思うと私も負けられません。社会人1年目で学ぶことが山ほどあります。日々努力し、浜工出身の名に恥じぬようにしていきたいと思います。

二瓶ひとみ(丸塚中学H20年度卒業)

先輩のメッセージ2

私は浜松工業高校を卒業し、建築設計事務所に勤めています。建築は人の生活に直結し奥が深く覚えることも多く、やり甲斐のある仕事です。浜工で基礎をしっかり学んだおかげで、実務でも基礎の上に更なる知識を積み上げる事ができています。忙しい中でも勉強し、昨年2級建築士に合格しました。皆さんも是非建築の世界に足を踏み入れてください。

縣 朋旦(三ヶ日中学H20年度卒業)